



2018年5月14日

各 位

会社名：株式会社MS & Consulting

(コード番号：6555 東証マザーズ)

代表者名：代表取締役社長 並木 昭憲

問い合わせ先：IR チーム ir@msandc.co.jp

当社ホームページへの不正アクセスによるご登録情報の流出可能性について

このたび、当社が運営するミステリーショッピングリサーチのWebサイト (<https://www.ms-r.com/>) におきまして、不正アクセスがあり、ご登録情報が一部流出した恐れがあることが判明しました。なお、現在のところ当該情報を悪用された被害の報告は入っておりません。

モニターの皆様及び関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけすることを、心より深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り本件の概要につきお知らせいたします。

記

1) 経緯

5月10日(木)：社内の定例会議にて、サーバログの確認を行ったところ、不正アクセスを発見したため、当該ソフトウェアの修正を実施いたしました。なお、不正アクセスの日時は5月2日2時13分より13時25分の間です。

5月11日(金)：当該ソフトウェアを全体的に見直し、必要な修正を実施いたしました。

5月12日(土)：改めてサーバログを詳細に調査した結果、ご登録情報が一部流出した恐れがあることが判明いたしました。

2) 影響範囲

当該サイトに登録された6,119名のご登録情報が対象となります。流出した恐れのある情報項目は、以下の通りです。

- メールアドレス
- パスワード
- 電話番号となります

金融機関口座の情報など上記項目以外の流出は確認されておりません。

3) 原因

ログ解析の結果、攻撃手法は URL の末尾のパラメータと呼ばれる箇所に不正なデータベースコマンドを混入させ、本来とは異なる情報を表示させようと試みる「SQL インジェクション」と判明しました。

当社では当該攻撃への対策として、WAF (Web アプリケーションファイアウォール) を導入しておりましたが、WAF の設定に誤りがあったため海外子会社向けのモニター登録サイトから、共通のデータベースを利用している当該 Web サイトに不正なアクセスを受けたものです。

4) 実施対策と再発防止策

5月13日(日)夜までに、当該 Web サイトの WAF の設定を提供会社に照会し、適切に再設定いたしました。また、流出した対象者のパスワードを変更の上、個別にメールで連絡を行っております。

今後、外部専門機関を交えた当社 Web サイトの安全性の再検証、並びに Web サイト開発管理体制の強化等を実施し、再発防止に取り組んでまいります。

本件に関し、個人情報保護委員会、およびプライバシーマーク制度の運用機関である一般社団法人日本情報経済社会推進機構 (JIPDEC) に対し概要を報告しております。また、所轄の中央警察署に不正アクセスに関する被害を相談しております。

当社から情報流出の恐れがある方々に電話・郵便・メール等で、金融機関口座や、クレジットカード情報、暗証番号、マイナンバーをお伺いすることは、一切ございません。

不審なメールについては、メール及び添付ファイルの開封を控えるなど、何卒ご注意くださいますようお願い申し上げます。

このたびは、モニターの皆様及び関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけすることを、重ねて、心より深くお詫び申し上げます。

5) その他

本件が業績に与える影響は軽微であります。

以上